

～ドラマ「太陽の末裔」から見るアジアにおける韓国ドラマ人気～

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

阿部 さおり

アンニョンハセヨ！今年度から派遣職員として釜山広域市へ赴任しました阿部さおりと申します。これから2年間よろしくお願いいたします。釜山へ来てから、1ヶ月が経ちました。来たときはまだ肌寒く、桜も満開でしたが、今では新緑がとても美しい季節になりました。

こちらへ来たばかりの時に、釜山広域市の職員の方から薦められたドラマがあります。「太陽の末裔」というドラマです。「太陽の末裔」は、水曜日と木曜日の22時から放送され、朝鮮日報によると放送スタート時は14.3%の視聴率でしたが、回を重ねるごとに20%を超え、30%を超え、全16回の放送のうち、15回目の放送時（4月13日国会議員選挙投票日）では、数ある選挙速報番組を押さえ34.8%、最終回（4月14日）では、とうとう38.8%という視聴率を記録しました。3月まで日本で放映されていたNHKの朝ドラ「あさが来た」が視聴率20%越えと話題になっていますが、それをはるかに超える連続ドラマでした。

ドラマの内容は、ウルクという架空の土地に派兵された軍人（ソン・ジュンギ）と女性医師（ソン・ヘギョ）のカップルを通じて、戦闘状況の中で恋愛をした2組のカップルと、彼らに関わる人々の物語を描いたラブストーリーです。

このドラマは、中国でも韓国と同時期に、「愛奇芸」という動画サイトで放映されていました。ドラマ放映が終わっていない段階での累積再生回数が20億3千万回を超え、今まで同動画サイトで放映されたドラマ史上最多の累積再生回数となること、また同動画サイトの有料会員数がこのドラマが放映されてから会員数が50%増えたと報じられています。人口が13億人と言われている中国でどれだけ人気があったのか明らかです。放送終了から2週間しか経たないうちに、中国では太陽の末裔に似たシチュエーションのドラマがクランクインしたと話題になっています。

このドラマは現時点で32か国への輸出が決定していると言われており、中国、日本、台湾、香港、タイ、インドネシア、シンガポール等のアジア各国をはじめ、イギリス、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー等のヨーロッパ各国、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、イランといった中東などにも輸出されるそうです。

朴大統領は、「太陽の末裔」について「単純に文化コンテンツに限定されず、多様な付加価値、また教育的・文化的付加価値として韓国文化の底力を見せてくれるコンテンツだ」と絶賛し、韓流ドラマを観光商品開発に積極的に活用するように首席秘書官会議で発言したと報道されています。また、撮影場所である江原道太白市では、同ドラマのセットを約20億ウォンかけて復元することを決定し、早くも東南アジアを中心に旅行会社から問い合わせが相次いでいるようです。ドラマをきっかけに多くの観光客が江原道太白市へ訪れることが予想されます。

日本では今年6月にCSの「衛星劇場」で放映が決定している「太陽の末裔」ですが、私は韓国ドラマの王道を行くストーリーだと思いました。日本でも「太陽の末裔」が受け入れられ、韓流ブームが再来するのかととても楽しみです。